



2月15日例会：味グルメ親睦旅行

2月22日例会：「ロータリー家族週間」

3月1日例会：クラブフォーラム「新クラブ結成について」

3月8日例会：卓話

3月15日例会：夜例会 18:30点鐘 三条ロイヤルホテル

3月22日例会：卓話

3月29日例会：会長エレクト研修報告会



ロータリーを祝おう 100年の歩み

三条北ロータリークラブ週報

ロータリーを祝おう

100年の歩み

国際ロータリー会長 グレンE.エステスシニア 第2560地区ガバナー 横山芳郎
ホームページ <http://www.2nextne.jp/district2560/>

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
TEL35-7160 FAX33-8972
ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org> メールアドレス north@sanjo-nrc.org

行 事： 市内3RC合同100周年記念例会 18:30点鐘 於ハミングプラザビップ

水害被災小中学校備品贈呈式

出 席： 本日の出席 62名中 43名

先々週の出席率 62名中 54名 87.10% (前年同期 89.83%)

【1月の出席状況：会員数 62名 例会数 3回 平均出席率 83.87% (前年同月 84.32%)】

先週のメークアップ： 2月1日 地区拡大委員会（敬称略）中條耕二、米山忠俊、今村 泉
淵岡 茂、木宮 隆、落合益夫、小林 満、斎藤 正

ビジター： 三条RCより 五十嵐晋三、渡辺喜彦、石橋育於、浅野金治、成田秀雄

（敬称略）三条南RCより 馬場信彦、菲沢喜一郎、飯山勝義、大湊秀雄、永桶栄資
草野恒輔、天田 匠、馬場一敏

会長挨拶： 3クラブ合同 ロータリー100周年を祝う会 渡邊喜彦会長

みなさん今晚は。本日はロータリークラブが発足して100年を迎える記念すべき式典に、公務ご多用の中「三条市長 高橋一夫様」「三条教育委員会教育長 松永税男様」「三条市立四日町小学校長 波部則夫様」「三条市立月岡小学校長 月岡茂久様」「三条市立条南小学校長 渡辺利男様」「三条市立南小学校長ならびに三条市立南幼稚園長の伊藤みさ子様」「三条市立第一中学校長 山田俊彦様」そして同じく「三条市立本成寺中学校長 根津直久様」、おいでくださいまして誠にありがとうございました。また、会員各位におかれましても一日の仕事が終わりお疲れのところ多数御参集頂き誠にありがとうございました。

私は、三条ロータリークラブ本年度会長の渡辺でございます。後ほど、細井アシスタントガバナーよりご挨拶がございますが、せっかくの機会ですので、簡単に皆様方の代表として一言ご挨拶申し上げます。

さて、我々ロータリークラブは1905年（明治38年）、2月23日アメリカ・イリノイ州シカゴにおいて、青年弁護士ポール・ハリスが友人3名と共に発足させたのが始まりです。以来100年という長い年月を経て今日を迎えることができました。本日はそれから丁度100年を迎える本年2月23日に先立

ち、我が2660地区第四分区の三条にございます3つのクラブが合同でそのお祝いの行事を行うこととなりました。

発足以来我がロータリークラブは、それぞれ会員自身の人間的資質の向上に努力し、企業経営の健全化そして何よりも社会の一員としての奉仕の理想に燃え、日夜努力を重ねてまいりました。世界中の多くの功績を振り返るたびに、ロータリークラブの偉大さと緒先輩方の努力と実績に深く敬意を表するとともに改めて自分自身の研鑽努力の必要性を深く認識する次第です。

このたびの思いがけない災害の多くに、我々ロータリークラブとして何を成すべきかと問い合わせた時、すかさず会員の皆様は躊躇無く、自分の持っている私財をなげうって多くの方々の為に奉仕協力していただきました。

本日、100周年を迎えるにあたり改めてロータリークラブの原点に立ち返り我々の日頃提唱しております、職業奉仕を通じて大いに社会奉仕をしてまいりたいと思います。我々も企業も、そしていろいろな団体も年月を経て成長、発展してまいります。その成長には欠かせない節目の年がございます。その節目の意義は、「改めて原点にもどり創業・創始のこころを思い、今後の新たなるスタートに立ち返る」大切な行事であると心得ます。

本会の記念すべき式典とお祝いは、そういう意味で改めて100年前の原点を作ってくれた方々の思いに立ち返り、次なる100年つまり200年に向けての心新たなスタートの時でもあります。皆様方と本日は、そうした心で本日の式典を祝い共に喜び合いたいと思います。本日は、どうぞよろしくお願い申し上げ3クラブ会長を代表致しましての挨拶とさせていただきます。

幹事報告：なし

細井 A G：百周年にあたって

☆ 細井増雄アシstantガバナー

今年度、第四分区のアシstantガバナーをやらせていただいている、三条ロータリークラブの細井増雄です。ロータリークラブ百周年の歴史とRI会長グレンE. エステス氏のテーマと、地区の百周年に対する考え方、また、私の私見もふまえて、スピーチをさせていただきます。

百周年ということで、先ほど三条ロータリークラブの渡辺会長から、1905年にシカゴでロータリークラブが発足したとお話をありました。これは、すべてのロータリアンが知っておられるはずでございます。それからの100年が今年に当たるわけですが、日本のロータリーの歴史を少し申し上げますと、1905年にシカゴで発足してから、15年遅れの1920年（大正9年）に東京ロータリークラブが発足しました。それ以来、大阪、名古屋、神戸と続き、今、ロータリークラブは、会員が110万人、クラブ数は、およそ2,000近くになりました。

新潟県のロータリークラブの歴史は、昭和15年5月に新潟ロータリークラブが発足しました。これは、全国で55番目にあたります。実は、その新潟ロータリークラブが、日本のロータリークラブの、戦前の最後のクラブです。戦後初めて出来たクラブが、昭和24年に尾張一宮のロータリークラブです。したがって、昭和15年から昭和24年の9年間は、第二次世界大戦のためロータリー活動は、一時

せていただきます。大変ありがとうございました。

☆ 三条市教育委員会

教育長 松永悦雄様

三条市教育委員会の松永でございます。

今日は、国際ロータリー創立百周年をお祝いいたしまして、三条市内3つのロータリークラブの皆様方の合同の集いが、このように大勢の方々で盛大に行われますこと、本当にめでとうございます。また、このような晴れ晴れしいところにお招きいただき、大変ありがとうございました。

私は、三条市内に3つのロータリークラブがあって、それが独自の素晴らしい活動をなさっていらっしゃると言うことを伺って、存じていましたが、本日このように大勢の方々がご自分の事はさておいて、地域の奉仕や、あるいは子供たちの為に尽くされていらっしゃると言うことを目の当たりにいたしました、深く敬意を表し、感動をいたしました。今日は、その奉仕の一環として7・13水害で被災した、嵐南地区の小・中学校と幼稚園に、本当に多大なご寄付をいただきました。大変ありがとうございました。本日列席しております、校長ともども心から感謝申し上げる次第でございます。皆様方の、この温かい気持ちを子供たちに伝え、子供たちは、この災害で、大きな困難や、苦しみを味わったことだと思いますが、皆様のご主旨を子供たちに伝える中で、そういう困難を乗り越えて、大きく羽ばたいていくことを期待しているところでございます。今日、ご出席されている、校長先生方もそれらを、十分子供たちに伝え、より良い、これまで以上の充実した、教育活動を展開していくものと思っております。

脚本家の倉本聰さんは、役者を演出する中で、役者を育てるについて次のように話しています。「役者を育てると言ふことは、半年や一年で収穫を上げる農業感覚では出来ない。手間や時間をじっくりかけ、地面にしっかりと根を生やし、大きく、たくましく育てる林業感覚でなければならぬ。」と述べていました。私も、学校教育は、そうではないかなと思っております。これから時代を背負っていく子供たちに、人間としての基礎・基本をしっかりと植えさせて、そして、たくましく、大きく健やかに育てていく林業感覚が、大事なのではないかと思っております。そういう意味で、義務教育段階に置けますこの小中学区において、あるいは、その基礎となる幼稚園におきまして、子供たちの基礎をしっかりと皆様方の、本日頂いたご好意を糧にしながら、築いてまいりたいと思います。今後とも、皆様方は、地域の牽引者としてあるいは、まもなく誕生する、新市の発展のために、そして、未来を築く子供たちの為に更なるご尽力、ご指導、ご支援を賜りたいと思います。最后になりましたが、ロータリークラブさんのますますのご発展と、ご参会の皆様方のご活躍、ご健勝を心から御記念申し上げまして、本当に、言葉が足りませんけれども、今日のお祝いと、御礼の挨拶とさせていただきます。本日は、本当にありがとうございました。

ニコニコボックス： 1日現在累計 678,000円